

2022年04月27日

【格付維持/方向性変更】 新生銀行グループ各社

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

<格付見直し結果> 格付対象は後記をご参照ください

発行者(証券コード)	発行体格付	格付の方向性	短期債務/CP
新生銀行(8303)	A-(維持)	安定的→ポジティブ	a-1(維持)
アプラス	A-(維持)	安定的→ポジティブ	a-1(維持)
新生フィナンシャル	A-(維持)	安定的→ポジティブ	—
昭和リース	A-(維持)	安定的→ポジティブ	—

【格付理由】

○新生銀行

新生銀行は2021年12月にSBIホールディングス(証券コード:8473、中核会社のSBI証券の発行体格付=A)の連結子会社となった。SBIグループとの連携が強まり、経営の一体性が高まるというR&Iの見通しを反映し、発行体格付A-を維持したものの、格付の方向性をポジティブに変更した。

銀行事業ではストラクチャードファイナンスなど専門性の高い分野、ノンバンク事業では消費者金融やカード・信販に強みがある。それぞれの事業規模は大きくないが、強みを発揮して営業基盤の活用度を高めている。ノンバンク事業の収益貢献が高く、収益力は国内銀行の中では高い。

ニッチな事業領域を中心に展開するビジネスモデル、不動産関連やノンバンクの事業構成が高いことを踏まえると、一般の商業銀行と比べて利益は環境変化の影響を受けやすい。信用リスクは大きいものの市場リスクは小さく、リスク耐久力はAゾーンに見合う。資産の質も比較的健全だ。

公的資金の返済に道筋をつけるのが今後の課題だ。収益水準を引き上げて株価の上昇を目指す中で、リスクテイクを強める可能性があるというR&Iはみている。維持する自己資本比率や各種リスクの位置付けなど、今後のリスク選好方針を注視していく。

SBIグループから社長を含めて3人の取締役を派遣している。SBIグループの営業基盤や機能を活用することで事業・財務の一体性が高まってくれば、SBIグループ全体の信用力をそのまま反映することになる。

○アプラス

新生銀行の完全子会社で信販大手の一角を占める。割賦、カード、融資、集金代行など多様な機能を持ち、加盟店ネットワークは戦略上の重要性が高い。格付・方向性は新生銀行と同じにしている。

○新生フィナンシャル

新生銀行の完全子会社で消費者金融大手の一角を占める。「レイク」ブランドで知名度が高く、グループにおける消費者向け無担保ローン事業の中心。格付・方向性は新生銀行と同じにしている。

○昭和リース

新生銀行の完全子会社でリースやアセットファイナンス事業を担う。中堅・中小企業の顧客基盤や物件価値に基づくファイナンス機能は重要性が高く、格付・方向性は新生銀行と同じにしている。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用格付以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

【格付対象】

発行者：新生銀行（証券コード：8303）

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	A-（維持）		安定的→ポジティブ	
名称	発行総額 （億円）	発行日	償還日	格付
第5回無担保社債	100	2018年07月13日	2023年07月13日	A-（維持）
第6回無担保社債	100	2018年12月13日	2023年12月13日	A-（維持）
第7回無担保社債	100	2019年10月10日	2022年10月07日	A-（維持）
第8回無担保社債	200	2019年10月10日	2024年10月10日	A-（維持）
第9回無担保社債	200	2020年01月23日	2023年01月23日	A-（維持）
第10回無担保社債	300	2020年01月23日	2025年01月23日	A-（維持）
第11回無担保社債	300	2020年07月09日	2023年07月07日	A-（維持）
第12回無担保社債	300	2020年07月09日	2025年07月09日	A-（維持）
第13回無担保社債	100	2021年03月12日	2024年03月12日	A-（維持）
名称	格付			
短期債務	a-1（維持）			

発行者：アプラス

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	A-（維持）		安定的→ポジティブ	
名称	発行総額 （億円）	発行日	償還日	格付
アプラスフィナンシャル第5回無担保社債	100	2018年10月15日	2023年10月13日	A-（維持）
アプラスフィナンシャル第6回無担保社債	100	2019年12月05日	2024年12月05日	A-（維持）
名称	発行限度額 （億円）	担保・保証 保証会社等	格付	
コマーシャルペーパー	2,700	無担保	a-1（維持）	

発行者：新生フィナンシャル

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	A-（維持）		安定的→ポジティブ	

発行者：昭和リース

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	A-（維持）		安定的→ポジティブ	
名称	発行総額 （億円）	発行日	償還日	格付
第3回無担保社債	100	2018年07月31日	2023年07月31日	A-（維持）
第4回無担保社債	100	2019年12月18日	2024年12月18日	A-（維持）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	新生銀行：松島 賢宗 アプラス、新生フィナンシャル：肝付 卓也 昭和リース：和田 あゆみ
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	丸山 博哉

信用格付を付与した日	2022年04月27日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021. 06. 01] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2020. 03. 23] 預金取扱金融機関 [2022. 04. 04] 消費者金融 [2020. 06. 12] クレジットカード・信販 [2019. 06. 19] リース [2020. 04. 24] グループ企業の格付の考え方 [2022. 03. 08]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	新生銀行、アプラス、新生フィナンシャル、昭和リース
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。